

# 東北大学 総合地域医療研修センター 支援プロジェクト

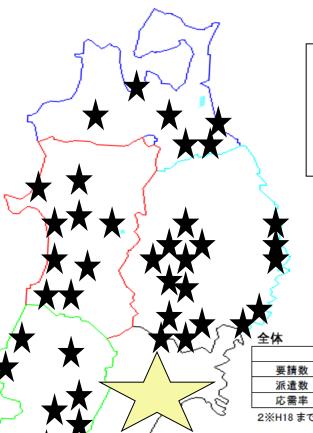
医学系研究科・歯学研究科・東北大学病院・加齢医学研究所

平成26年3月9日 東北大学災害復興新生研究機構シンポジウム



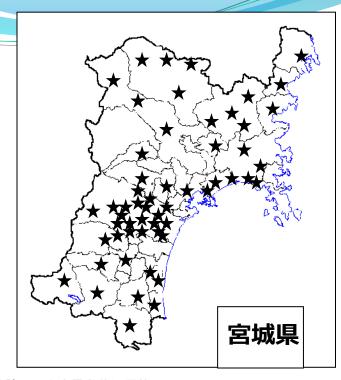
#### 東北大学医学系研究科・東北大学病院の

## 地域医療への貢献



#### 医師派遣先と 派遣数

平成22年3月東北大学病院調査



平成 17-21 年度 東北大学から関連病院への人事異動状況要約

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
要請数	537	561	294	409	307
派遣数	150	143	145	163	119
応需率	28%	26%	49%	39%	39%

2※H18 までは要請数取りまとめを年 2 回集計。H19 年度より年 1 回に変更

H21 年度	要請 307	派遣 119	応需率 39%

地区別	北海道	青森	岩手	秋田	仙台	宮城	山形	福島	その他
要請数	2	36	46	4	64	104	20	31	-
派遣数	0	7	19	2	38	37	7	9	_
(全病院数)	620	103	94	77	14	14	69	143	_
(要請病院数)	1	13	10	3	4	5	13	14	-

診療科別	内科	外科	小児科	産婦人科	麻酔科	精神科
要請数	80	76	15	17	11	17
派遣数	19	41	6	9	4	5



### ◇東日本大震災における貢献

- ・被災病院からの患者の受入れ、県外への患者搬送
- ・県内外への医師派遣・医療物資の提供
- ・医薬品、医用材料等の確保

医療物資の搬送の様子



被災地での患者搬送



ドクターヘリによる患者受入れ





## 東北地区の医療の課題

- I.従来より地域医療に携わる医療人が不足
- Ⅱ.地域で最新の医療技術・知識を習得する機会が不足
- Ⅲ.震災により被災地の医療から離れる医療人が増加
- IV.被災地の病院が再興することによる医療人の不足



- ・被災地からの医療人を受け入れ、最新の医療の 研修を提供する場が必要
- ・地域医療に携わる人材を育成する場が必要



# 総合地域医療研修センターの目的

I. 被災地の医療人材の受け入れと最新医療の研修の場の提供(循環型人材育成と還元)

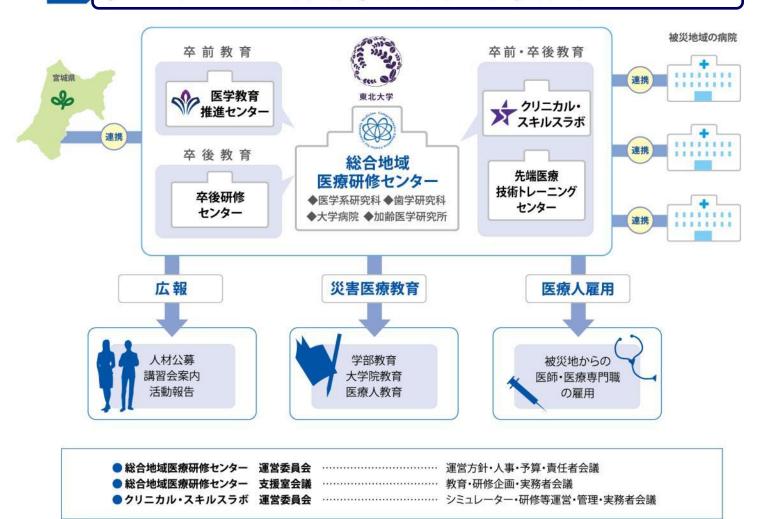
Ⅱ.実践的災害医療学の確立と地域・災害医療に携わる人材の養成

Ⅲ. 地域の医師不足対策としての医学部定員増に係る医学教育の充実



## 総合地域医療研修センター

目的 ①被災地医療人の受入れ・再教育(循環) ②災害医学の確立・教育 ③定員増に係る重点プログラムの実施





## 総合地域医療研修センター

目的 ①被災地医療人の受入れ·再教育(循環) ②災害医学の確立·教育 ③定員増に係る重点プログラムの実施



震災の第一線で活躍した医療人による実践的講義 地域医療に出向いた医療実習

地域医療に出向いた医療実習

総合地域医療研修センター

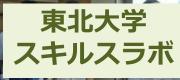
運営委員会

●クリニカル・スキルスラボ 運営委員会

··················· 運営方針·人事·予算·責任者会議

······教育·研修企画·実務者会議

地域医療人の 技術向上・生涯教育







## 平成25年度の活動(I)

- I. 被災地の医療人材の受け入れと最新医療の 研修実施
- ①地域・災害教育用医師、高度専門職業人、技術支援者雇用
- ②各種研修会の実施
- ③教育用・遠隔診断用病理システム構成図
- 4総合地域医療研修センターの広報活動



### ①地域·災害教育用医師、高度専門職業人、 技術支援者雇用

- 総合地域医療研修センター教員雇用 教授1、准教授2、助教2、助手1, 救急救命士1, 獣医1
- 被災地医療人雇用

薬剤師2,看護師1,診療放射線技師1, 臨床検査技師1,歯科衛生士1

石巻市立病院, 気仙沼市立病院とは人事交流制度を 新たに設定し、薬剤師1名, 臨床検査技師1名は、制度 に基づく雇用となっている。



#### 2 各種研修会の実施

### シミュレーターを活用した 医療技術トレーニング研修

















# 地域開放型スキルスラボ



- ・卒前臨床教育の充実
- ・研修生・院内医療人の教育
- ・医療安全に向けた教育と、その向上
- ・地域医療人の技術の向上
- ・生涯教育の場と機会の提供
- ・在宅医療を含めた地域医療へ貢献
- ・地域基盤型教育の整備と質の向上



#### 緊急気道管理トレーニング

2013年度 前期開催予定

5/5(日), 6/9(日), 7/7(日), 9/1(日)

時 間: 9:00~12:00 の3時間(多少の延長あり)

場 所: 艮陵会館スキルズラボ地下1階

救急蘇生シミュレーション室

環 境: SimMan3G他のシミュレーターを使用. MacGRATH.

エアウェイスコープ, ジェットベンチレーター(TTJV), LMA, i-gel, GEB, チューブエクスチェンジャー,

簡易気管支鏡などを用いて気道管理困難症に対する

気道管理手技を学びます。 受講者: 最大6人(目安です)

対 象: 医師, 歯科医師、看護師, 救急救命士

条 件: 救急・麻酔・集中治療領域での従事者を優先致します。

受講料: 消耗品に関してのみ実費負担をお願いします。

服装等: 動きやすい格好









AirWay Scope

MacGRATH

TTJV

cricothyrotomy

申込みはEメールでのみ受け付けます。 担当:遠藤智之まで

申込みアドレス: entomo@med.tohoku.ac.jp

申込みいただいたメールアドレスに、申込みフォームファイルを添付し返信 させていただきます。そちらに記入し再度メールしていただき申込み完了と なります(この申込み方法は、今後変更になる可能性があります)。

#### 急性心不全症候群 シミュレーション 2013年度 前期分のお知らせ

2013年度 4月~9月の開催予定

4/7(日),  $5/4(\pm)$ ,  $6/8(\pm)$ ,  $7/6(\pm)$ ,  $8/31(\pm)$ 

時 間: 13:30~17:30 の4時間

場 所: 艮陵会館・東北大学スキルスラボ(SIMSTAR)

地下1階救急蘇生シミュレーション室

SimMan3Gを使用、50インチ大画面をモニターとして使用 画像/12誘導などを表示可能。除細動器、救急カートなど常設

受講者: 5~10人

対象: 医師, 歯科医師, 看護師

日常臨床で急性心不全に遭遇する機会の多い方優先。 AHA ACLSプロバイダーコースを受けていることが望ましい。

服装等: 動きやすい格好

内 容: 日本循環器学会ガイドラインを参考資料として、

「クリニカルシナリオ」を基にしたシミュレーションにより

急性心不全治療を学びます。

受講費: 無 料 (ワンコイン募金にご協力下さい)

補 足: 全ての日程において, 午前にPCPSトレーニング

を行いますので、併せて参加をご検討下さい。

ファシリテーター/インストラクター

東北大学総合地域医療研修センター 遠藤 智之他 (救急医学会専門医、循環器学会専門医、AHA仙台ECCトレーニングサイト代表)

申込みはEメールでのみ受け付けます。 担当:遠藤智之まで

申込みアドレス: entomo@med.tohoku.ac.jp

申込みいただいたメールアドレスに、申込みフォームファイルを添付し返信 させていただきます。そちらに記入し再度メールしていただき申込み完了と なります(この申込み方法は、今後変更になる可能性があります)。



# 助産師のためのALSO (Advanced Life Support in Obstetrics)」SO フロバイダーコース

すべての地域で同レベルの産科救急医療体制を維持する ことを目的とした助産師対象のトレーニングコース

開催場所:東北大学医学部艮陵会館

(クリニカルスキルズラボ)

日 時: 平成26 年2 月8 日(土), 9 日(日)

参加人数:21名

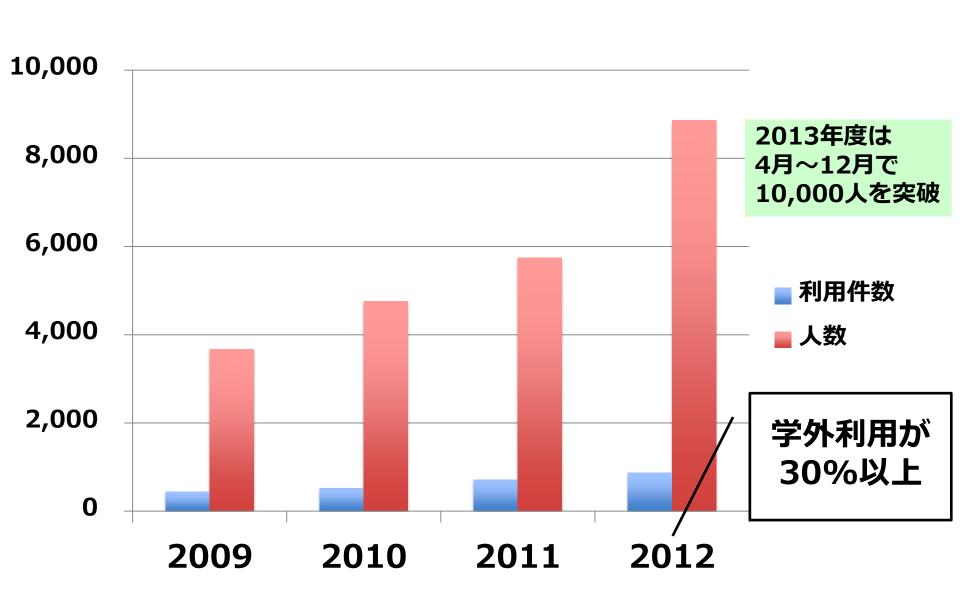








## 東北大学クリニカル・スキルスラボの 利用件数と利用人数の推移





# 出張スキルスラボ気仙沼市立病院にて

心臓と肺の聴診:



中心静脈力 テーテルシ ミュレータ



気道確保





#### 動物を用いた外科手術手技トレーニング研修







#### 研修医に対する動物を用いた 外科手術手技トレーニング

2013.12/10(火)定員残1名 2014. 1/21(火)定員3名 2014, 2/18(火)定員3名

参加料無料

スケジュール(各回とも同じ内容) (東北大学病院先端医療技術トレーニングセンター)

申込〆切 11月29日(金)

09:45 参加者受付

09:30 開場準備

10:00 開会挨拶

10:05 オリエンテーション

10:10 議義 実験動物倫理福祉 手術手技

11:00层休み

12:00 実習(手術室) 麻酔の導入 気管内拝管、気管切開

血管確保符合手技

12:30 縫合 結紮 切開

14:00 気管切開 カットダウン

15:00 開胸 開腹 胸腔ドレナーシ

16:30 手術終了、安楽死処置

17:00 閉会 講評

主催 東北大学医学部総合地域医療研修センター 共催 NPO法人艮陵協議会 東北大学医学部動物実験施設

(実技内容に関する問い合わせ)

東北大学呼吸器外科 野田雅史 Tel 022-717-8526 noda.m@idac.tohoku.ac.jp

#### 申し込みはこちら



東北大学医学系研究科総合地域医療研修センター Mail: ctc@med.tohoku.ac.jp

@は半角に修正して送信してください 参加希望日・所属・氏名・メー TEL: 022-717-8867

ルアドレスをお知らせください。



#### 周産期メンタルヘルス指導者養成研修会

日本での産後うつ病の発症率は5%程度であるが、東日本大震災の震災地域でのハイリスク者は21~28%と高値を示しており、早急な対応策が必要。今回、周産期のメンタルヘルスにかかわる<u>心理支援者の核づくり</u>を目的として、研修会を実施。

開催場所:東北大学医学部保健学科

日 時:平成26年1月12日(日)~13日(月)

参加者 : 6名







## 宮城県訪問看護ステーション連絡協議会 平成25年度技術研修会

宮城県訪問看護ステーション連絡協議会と共催し平成25年度技術研修会を実施。本研修会では、CVポート管理、フィジカルアセスメント(呼吸音の聴診)、ストーマケア、膀胱留置カテーテル、吸引の5つの項目について各手技の講義・実習を行った。

開催場所:東北大学医学部艮陵会館

(クリニカルスキルズラボ)

日 時: 平成25年12月14 日(土)

参加者 : 29名







# その他各種研修会の実施

- 青森県八戸市民病院、八戸労災病院にて病理講習会
- 漢方研修会
- 訪問歯科診療専門研修会
- 摂食・嚥下リハビリテーション専門研修会
- 震災時における歯科および歯科医療学セミナー
- 周術期口腔機能管理セミナー
- 看護師の実践・教育・研究に役立つ知識・スキルの アップデート講習会

など 各種研修会を実施。



#### ③教育用・遠隔診断用

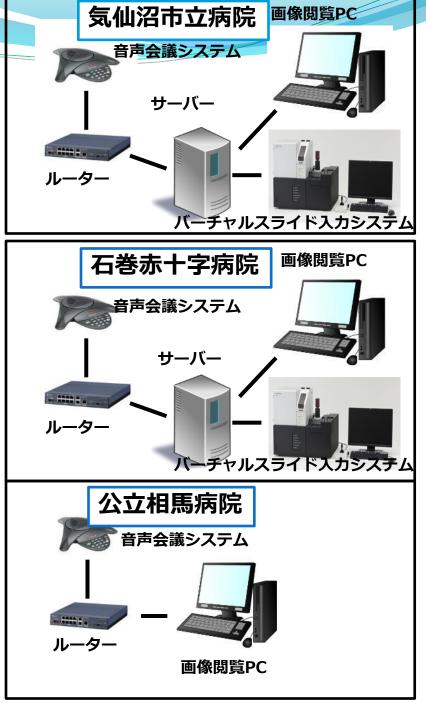
#### 病理システム構成図



通信システム

#### <支援内容>

- 1. 臨床医への病理所見の解説
- 2. 細胞診検査士の細胞診教育
- 3. CPCによる臨床研修医の指導支援



# 4広報活動

- 見学会
- ・ホームページ
- 総合地域医療研修センター支援プロジェクトパンフレット
- スキルスラボ利用案内
- 宮城県医師会への広告





# 平成25年度の活動(Ⅱ)

- Ⅱ. 新たな災害医療学の確立と地域・災害医療に携わる人材の養成
- ①災害医学講義、災害歯科医学講義の開講
- ②災害医学概論、災害医学セミナー、災害歯科医療学実践講 義の開講
- ③被災地での災害医学実習
- ④災害医学研修会・講習会の開催
- ⑤災害医学に対応できる高度医療人養成



# 地域医療学生教育

#### 1・2年次学生向け 被災地体験実習

地域医療の実情と保健・福祉との連携の重要性を理解し,地域医療に必要な基本的スキル・態度・行動規範を修得することを目的に,1,2年生全員に必修科目として「被災地体験実習」を実施した。









#### 【2年次】

10/26 気仙沼市立本吉病院

11/2 公立南三陸診療所

11/2 女川地域医療センター

11/9 石巻赤十字病院

11/16 気仙沼市立病院

11/16 石巻市立病院開成仮診療

所

#### 【1年次】

2/12 石巻赤十字病院

2/13 気仙沼市立本吉病院

2/14 石巻市立病院開成仮診療所

2/17 女川地域医療センター

2/18 気仙沼市立病院

2/19 公立南三陸診療所



## 高学年向け被災地医療体験実習

- 被災地訪問診療に同行
- 全国の医学生・初期研修医から募集.
- 8/4-7、8/18-21、3/23-26の計3回.
- 各回定員8名.
- 実習地

石巻赤十字病院 (石巻市)

石巻市立病院雄勝診療所 (石巻市)

気仙沼市立本吉病院 (気仙沼市)

南三陸診療所(南三陸町)

東北大学病院(仙台市)



## 被災地医療体験実習の様子

#### 救急科医師の講話







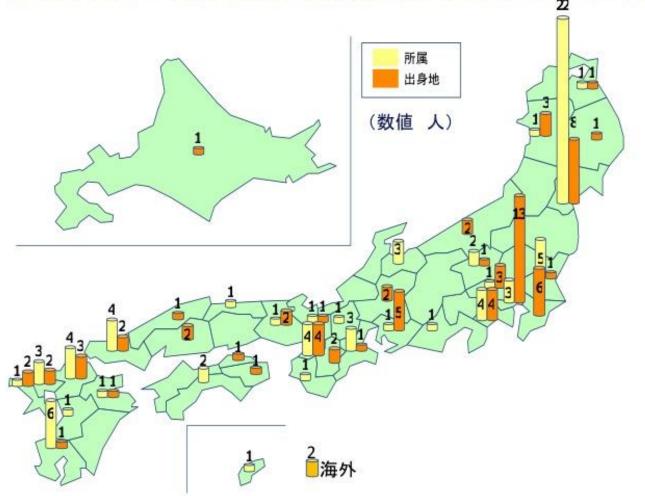






## 被災地医療体験実習の参加者累計 (H23~25)

参加者81名の所属施設所在地と出身地





# 災害歯科医療学実地研修会の実施



仮設診療所にて



解体が決まった防災庁舎にて献花



診療所工事



志津川湾を望んで



# 医学部講義

- 臨床講義通論
- 対象 医学部4年次学生
- 総合臨床ブロック「総合臨床医学 ―周術期医学、救急・災害医療、医療法規―」
- 救急医学分野はDMAT活動等、法医学分野は遺体検案・死因分析等、 外科系分野は外傷治療等、災害関連の講義を行う。
- 伊勢秀雄先生(石巻市立病院院長;客員教授)、石橋悟先生(石巻赤十字病院;臨床准教授)による災害医療の特別講義を行う。

#### 石巻赤十字病院における災害時医療









# 大学院講義

- 災害医学概論
- 対象 大学院学生
- この震災において、実際に災害医療現場で診療に携わった医療人の経験は極めて貴重であり、その経験を教育現場に直接届けることは極めて有効な災害医療学の実践となる。そこで本科目では震災で医療に携わった医療人(医師・コメディカル)がその経験に基づく実践的な災害医療の講義を行う。

また、<u>災害・救急医療を専門とする外部講師</u>を招聘し、系統的講義を実施する。さらに、東北大学に設置される<u>災害科学国際研究所の医療災害研究部門</u>と密接に連携し、高度で<u>専門的な災害医療講義</u>を行う。この実地的災害医療科目と専門的災害医療科目を組み合わせることにより、災害医療に対応できる医療人を養成する。

- 平成24年度後期に収録したものをインターネット授業として掲載している。
- インターネット授業の他に、被災地医療機関に勤務した医師による 合同講演会を実施している。

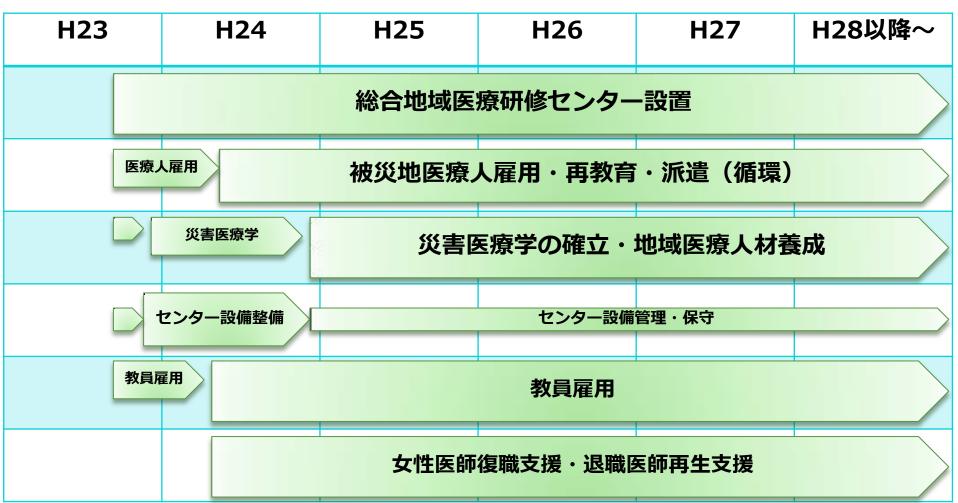


# 災害医学概論 講師陣

講師氏名	所属	担当
伊勢 秀雄	石巻市立病院院長(東北大学客員教授)	災害・地域医療学
大友 康裕	東京医科歯科大学救急災害医学 教授	国際災害医療学
森野 一真	山形県立中央病院救命救急センター	地域災害医療学
小井土雄一	国立病院機構 災害医療センター	災害医療学
近藤 久禎	国立病院機構 災害医療センター	災害医療学
諏訪部 章	岩手医科大学医学部 教授	災害検査医学
坂井 晃	福島医科大学教授	災害放射線学
石橋 悟	石巻赤十字病院 救命救急センター	地域災害医療学
服部 俊夫	東北大学災害科学国際研究所 教授	災害感染症学
加賀谷 豊	東北大学医学系研究科 教授	地域災害医療学
門間 典子	東北大学病院 看護部長	災害看護学
江川 新一	東北大学災害科学国際研究所 教授	災害医療国際協力学
富田博秋	東北大学災害科学国際研究所 教授	災害精神医学
伊藤 潔	東北大学災害科学国際研究所教授	災害産婦人科学



今後の展望



震災復興・地域医療支援のため長期的に医療支援を行っていく